

【教育目標】 夢へのチャレンジ 切磋琢磨する生徒 (令和4年11月1日改訂)



さくら ばな
桜 花

○美の心
○本気の学び
○論より実践

令和7年12月24日発行 第8号

= 「本気の学び」 =

文責 校長 葉草 清敏

「本気の冬休み」



【いよいよ冬休み、そして新たな一年へ】

いよいよ明日から23日間の冬季休業に入ります。受験を控える3年生にとっては、まさに正念場の期間です。計画に沿って、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

巷ではインフルエンザの流行に伴い、各学校の対策が報じられています。休業中も健康管理に十分留意し、万全の体調で冬休みを乗り切ってください。

【社会心理が数字に刻まれた「丙午」】

さて、来年の干支「丙午（ひのえうま）」は、日本社会に大きな影響を与えた「出生数の激減」という特異な現象で知られています。迷信が人口統計にまで影響を及ぼした、きわめて象徴的な年でした。

江戸時代以来、「丙午生まれの女性は気性が激しい」といった俗信が広まり、昭和の時代まで根強く残っていました。実際、1966年（昭和41年）の出生数は約136万人と、前年の184万人から約50万人も減少しました。翌1967年には194万人へと回復していることから、これは明らかに「意図的な出産回避」の結果といえます。1966年の丙午は、迷信が現実の人口統計にまで影響を与えた、きわめて稀有な事例として記憶されています。

【「ウルトラマンの日」と、美中の新たな一歩】

私の誕生日である1966年7月10日は、「ウルトラマン前夜祭」が放送され、ウルトラマンが初めてテレビに登場した日です。後にこの日は「ウルトラマンの日」として記念され、今もファンにとって特別な意味を持ち続けています。

この出来事は、日本の特撮文化が新たな時代へと踏み出した日として刻まれています。子どもたちや来場者は、初めて目にするウルトラマンに大興奮し、その熱狂が後の「空想特撮シリーズ」の礎となりました。ウルトラマンの60周年と重なるこの節目に、還暦を迎えられることは、私にとって大変感慨深いものがあります。特別な丙午の年にあたり、生徒の皆さんの若い力を結集し、美幌中学校の新たな一年を、ウルトラマンのように力強く、そして素晴らしいものにしていきましょう。



©円谷プロ

小中連携「交流授業」

今月9日(火)、小中連携事業の一環として旭小学校の5・6年生の児童を美幌中学校に招き、美幌中学校の教員による交流授業を実施しました。当日は5年生が体育、英語の順で、6年生が英語、体育の順で中学生と同じく50分の授業を体験しました。体育は体づくりの運動をテーマにラダートレーニング、英語は「アルファベットマスターになろう」と題してアルファベットのクイズや少し難しいローマ字表記の仕方について学習を行いました。限られた時間の中での体験授業でしたが、みんな楽しそうに取り組んでいました。この授業をきっかけに中学校に対する興味や関心を高めてもらえればと願っています。



体育常任委員会「スポーツ大会」

17日(水)～19日(金)の昼休み、体育館にて体育常任委員会主催のスポーツ大会が実施されました。今大会は学級対抗の「アメリカンドッジボール」です。1～3年生の全6学級が1日1試合ずつのトーナメント戦で試合を行いました。このドッジボールは当てられた人は外野に行かず、相手チームへ移動します。ボールを当てるほど仲間が増え、人数が減ったチームの負け(または人数が多い方が勝ち)となります。みんなボールに当たらないようにコートの中を逃げ回りますが、コートの中には多くの人がいるため、結局は当てられてしまいます。お互いにボールを当て合って仲間を増やしたり減らしたりと、最後まで勝敗がわからない白熱した楽しいスポーツ大会になりました。



生徒会「赤い羽根共同募金」

生徒会によるボランティア活動の一環として、今年も「赤い羽根共同募金」に取り組みました。生徒会書記局が中心となって各学級の生徒や教職員に呼びかけを行い、17日(水)まで校内で募金活動を行いました。活動の結果、およそ8,000円にのぼる募金が集まりました。

集まったお金は、18日(木)に生徒会書記局の役員6名がしゃきっとプラザ内にある美幌町社会福祉協議会を訪問し、美幌町共同募金委員会会長様に直接お渡ししました。美幌中学校の生徒の思いが詰まったお金が、必要としている人々のもとに届き、少しでも役に立てることができればとてもうれしい限りです。

